

平成16年度 第2回研究協議会

日 時 平成16年9月30日(木)
13時30分～15時30分
場 所 東京文化会館 中2会議室(上野)

関東地区公立中学校修学旅行委員会

(事務局:財団法人 全国修学旅行研究協会)

出席者名簿 (敬称略)

副会長	小林 幸正 (宇都宮市立旭中学校長)
〃	鈴木 年雄 (東金市立東金中学校長)
運営委員長	八木岡 忠 (水戸市立見川中学校長)
運営委員	鯉淵 茂 (水戸市立双葉台中学校長)
〃	後藤 明 (宇都宮市立豊郷中学校長)
〃	越井 文夫 (河内町立田原中学校長)
〃	治田 正 (沼田市立沼田西中学校長)
〃	中島 智雄 (片品村立片品中学校長)
地区委員	中山 邦夫 (長野原町立西中学校長)
運営委員	染谷 清 (さいたま市立桜木中学校長)
〃	森 收 (流山市立南流山中学校長)
〃	田代 資二 (市川市立福栄中学校長)
研究委員長	金澤 眞理 (日立市立中里中学校長)
研究委員	大根田 民雄 (今市市立小林中学校長)
〃	富田 政博 (埼玉市立埼玉中学校長)
事務局	柳川 達郎 (財団法人全国修学旅行研究協会理事)
〃	吉野 憲二 (〃 〃 部長)

次 第

開会のことば 八木岡 運営委員長

あいさつ 小林 副会長
柳川 全修協理事

議事

- | | |
|-----------------------------|---|
| 1. 平成16年度修学旅行専用列車の実施状況について | 1 |
| (1) 全体の状況 | |
| (2) 各県の状況 | |
| 2. 平成18年度修学旅行専用列車について | 2 |
| (1) 申込みの学校数と生徒数 | |
| (2) 割付け、組合せから発表までの手順 | |
| (3) 割付基準並びに各県留意事項 | |
| 3. 調査研究活動について | 7 |
| (1) 研究委員会の活動状況 | |
| (2) 愛知県修学旅行現地視察会報告 | |
| (3) 第40回関東地区公立中学校修学旅行研究発表会 | |
| (4) 全国修学旅行研究大会 | |
| 4. 陳情活動について | 8 |
| (1) 平成17年度修学旅行費等の国庫補助金の増額陳情 | |
| 5. JRとの意見交換会について | 8 |
| 6. 資料・情報について | 8 |
| 7. その他 | 9 |

閉会のことば 鈴木副会長

事務連絡(事務局)

- 別紙1 平成16年度修学旅行の実施状況調査データ(一部)
- 別紙2 愛知県修学旅行現地視察会報告書
- 別紙3 第40回関東地区公立中学校修学旅行研究発表会開催要項
- 別紙4 第21回全国修学旅行研究大会開催要項

資料

- 修学旅行資料「関西の旅」他
- 神戸市修学旅行資料
- 京都・奈良修学旅行資料(わたしの仕事館)

1. 平成16年度修学旅行専用列車の実施状況について

(1) 全体の状況

平成16年度修学旅行専用列車は、関西方面春期3コースを4月17日(土)~7月3日(土)(除く4月25日~5月6日)、秋期1コースを9月10日(金)から9月21日(火)まで、東北方面2コースを5月19日(水)~21日(金)、6月9日(水)~11日(金)まで延べ149日間運行し、780校116,182人の生徒の安全で快適な輸送を終了した。

本年度から、利用列車は「のぞみ号」となったが、特急料金は暫定的(16年度実施分のみ)に従前の「ひかり号」料金が適用された。東海道新幹線・東北新幹線の特急料金5割減免を伴う計画輸送により6億8百万円余の保護者負担軽減を図ることができた。

県別・コース別の実施校数・人数等は下表の通り。

6月21日の台風6号による線路への飛来物のため東海道新幹線が運転を見合わせ、Aコース帰路の列車が運休となり、7校1,145人は京都での延泊やバスでの帰京となった。さらに6月30日静岡県内の大雨の影響による東海道新幹線の運転見合わせで、往路列車の京都着の大幅な遅延、及び帰路東京着の列車の遅れにより乗り継ぎ列車の変更、臨時列車の出発時刻を遅らせての対応となった。

表1 平成16年度修学旅行専用列車実施状況

(単位：校、人)

コース	茨城県		栃木県		群馬県		埼玉県		千葉県		合計	
	校数	人数	校数	人数	校数	人数	校数	人数	校数	人数	校数	人数
A	40	6,615	98	14,237	3	151	219	35,443	98	15,956	458	72,402
B	87	11,629	22	2,246	36	3,069	46	6,776	33	4,319	224	28,039
C	2	264	0	0	0	0	44	7,428	39	5,974	85	13,666
秋期	0	0	0	0	0	0	10	1,761	0	0	10	1,761
関西合計	129	18,508	120	16,483	39	3,220	319	51,408	170	26,249	777	115,868
東北	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
東北/山形	0	0	0	0	0	0	0	0	3	314	3	314
東北合計	0	0	0	0	0	0	0	0	3	314	3	314
総合計	129	18,508	120	16,483	39	3,220	319	51,408	173	26,563	780	116,182

*上段：学校数、下段斜字：人数

コース別運行期間

	Aコース	Bコース	Cコース	東北、東北・山形
運行期間	4/17~7/3(除4/24~5/6)	5/7~6/2	春期 5/7~6/13 秋期 9/10~9/21	5/19~6/21 6/9~6/11

(2) 各県の状況

茨城県

栃木県

群馬県

埼玉県

千葉県

2. 平成18年度修学旅行専用列車について

(1) 申し込みの学校数と生徒数

表2 平成18年度修学旅行専用列車申込み状況

(単位：校、人)

コース	茨城県		栃木県		群馬県		埼玉県		千葉県		合計	
	校数	人数	校数	人数	校数	人数	校数	人数	校数	人数	校数	人数
A	43	6,385	98	13,921	16	1,344	216	35,014	95	14,978	468	71,642
B	82	10,808	23	1,918	22	1,692	51	7,753	27	3,365	205	25,536
C	2	293	0	0	0	0	38	6,739	52	8,409	92	15,441
秋期	0	0	0	0	0	0	13	2,171	0	0	13	2,171
関西合計	127	17,486	121	15,839	38	3,036	318	51,677	174	26,752	778	114,790
東北	0	0	0	0	0	0	0	0	3	299	3	299
東北/山形	0	0	0	0	0	0	0	0	2	263	2	263
東北合計	0	0	0	0	0	0	0	0	5	562	5	562
総合計	127	17,486	121	15,839	38	3,036	318	51,677	179	27,314	783	115,352

表 2-1 平成 17・18 年度修学旅行専用列車申込み状況

(単位：校、人)

	A		B		C		秋期 C		東北		合 計	
	校数	人数	校数	人数	校数	人数	校数	人数	校数	人数	校数	人数
茨城県	43	6,385	82	10,808	2	293	0	0	0	0	127	17,486
	40	6,163	87	11,292	2	261	0	0	0	0	129	17,716
栃木県	98	13,921	23	1,918	0	0	0	0	0	0	121	15,839
	98	13,681	23	2,364	0	0	0	0	0	0	121	16,045
群馬県	16	1,344	22	1,692	0	0	0	0	0	0	38	3,036
	6	346	32	2,657	0	0	0	0	0	0	38	3,003
埼玉県	216	35,014	51	7,753	38	6,739	13	2,171	0	0	318	51,677
	175	28,009	79	11,260	57	9,891	7	1,139	1	142	319	50,441
千葉県	95	14,978	27	3,365	52	8,409	0	0	5	562	179	27,314
	114	17,535	33	3,885	35	5,827	0	0	4	511	186	27,758
合 計	468	71,642	205	25,536	92	15,441	13	2,171	5	562	783	115,352
	433	65,734	254	31,458	94	15,979	7	1,139	5	653	793	114,963

上段網掛 18 年度、下段 17 年度

(2) 割付け・組み合わせから発表までの手順

割付けの大枠決定（設定日の目安と県別ローテーション）

6月3日総会・第1回研究協議会で決定

学校からの申込み

6月中旬～7月20日

割付け・組合せ作業

7月下旬～9月中旬 全修協事務局

組合せ原案作成

9月22日(水)頃 全修協事務局

各県の組合せチェック

9月下旬～10月上旬の各県委員会にてチェック

組合せの最終確認と決定

10月22(金) 第3回研究協議会にて最終確認・決定

決定割付表冊子(輸送計画表)の配付

11月24日(水)頃、事務局より各県に送付

茨城県・栃木県・群馬県は各県委員長宛、埼玉県・千葉県は各地区委員宛

各学校への決定通知

各県委員長・各地区委員より学校へ輸送計画書を配付

発表日

11月30日(火)、同時に関修委ホームページに掲載

(3) 割付けの基準並びに各県留意事項

【A 各県共通留意事項】

ア．コース別、割付基本人員(1日当たり)

方面	路線名	コース名	列車の種別	1日当りの計画人数 (1編成平均割付人数)		付帯事項
関西	東海道新幹線	春季A	専用臨時列車	1,200名	1,100～1,200名	1,000名に満たない場合は定期列車混乗
		春季B	専用臨時列車	1,200名	1,100～1,200名	1,000名に満たない場合は定期列車混乗
		春季C	定期列車混乗	370名	350～370名	* * *
		秋季C	定期列車混乗	370名	350～370名	* * *
東北	東北新幹線	東北	定期列車混乗	400名	200～400名	500名以上の場合専用列車利用有り
	山形新幹線	山形	定期列車混乗	200名	200名	金・土 出発は140名まで
	東北山形新幹線	東北・山形併用	定期列車混乗	200名	200名	金・土 出発は140名まで

イ．コース別、県割付の基本ローテーション(平成18年度)

- (1) 関西Aコース 埼玉県 / 栃木県・茨城県・群馬県 / 千葉県
- (2) 関西Bコース 埼玉県 / 茨城県・栃木県・群馬県 / 千葉県
- (3) 関西Cコース 埼玉県 / 茨城県 / 千葉県

ウ．割付の際の留意点

- (1) 県内ローテーション
- (2) 学校が避けて欲しい特別日(開校記念日、県民の日など)
- (3) 乗り継ぎ列車
 - 1) 常磐線は1日1編成まで(AコースとBコースは重複して運転しない)
 - 2) 高崎線・両毛線等・東北線で1日2編成まで
- (4) 車椅子の希望校について
 - 1) A・Bコース共に車椅子使用校は1列車につき1校を割り付ける

【B 各県別留意事項】

茨城県

- 1) 常磐線臨時列車は1日1本。A・Bが重複利用できない。
- 2) 岩井市は1日でまとめて出発。
- 3) 古河地区は駅混雑緩和のため、出来るだけ1日1校とする。
- 4) 結城地区は小山駅から東北新幹線利用、栃木県とかち合わないように。
- 5) Aコースは栃木県の東北新幹線利用校を先に割り付ける。

- 6) Bコースは茨城県の臨時列車利用校を先に割り付ける。但し、両毛線臨時列車の割付人員と小山駅東北新幹線利用人員は茨城・栃木共調整する。
- 7) 内原町 2005 年 1 月水戸市へ合併予定のため、水戸市と組み合わせる。

栃木県

- 1) Aコースは栃木県の東北新幹線利用校を先に割り付ける。
- 2) 茨城県の結城・下館地区と小山駅でかち合わないよう。
- 3) Bコースは茨城県の臨時列車利用校を先に割り付ける。但し、両毛線臨時列車の割付人員と小山駅東北新幹線利用人員は茨城・栃木共調整する。
- 4) 足利地区の臨時列車は 1 日当たり 380 名 (6 両) を目途に月～木発希望
- 5) 小山経由は高崎線 (群馬・埼玉) と重複 (大宮・上野) させない
- 6) 新幹線利用 A コースは 1 列車当たり 200 名程度を目途とし 1 列車複数校を避ける。
1 日当たり月曜日は 300 名、その他曜日は 600 名目途とする。
- 7) 東武鉄道利用は臨時列車利用の場合 1 日当たり 4 両 280 名 6 両 420 名以内、
A・Bコースの重複を避ける。
- 8) 6 月第 1 週の金・土・日は県の体育大会のため前後の出発日は含めて避ける。
平成 18 年 6 / 2 (金)・3 (土)・4 (日) の予定。(正式決定は H17 年の 2 月頃)
- 9) 二宮町はまとめて出発させない。(修旅と同時期に 2 年生の洋上研修のため)

群馬県

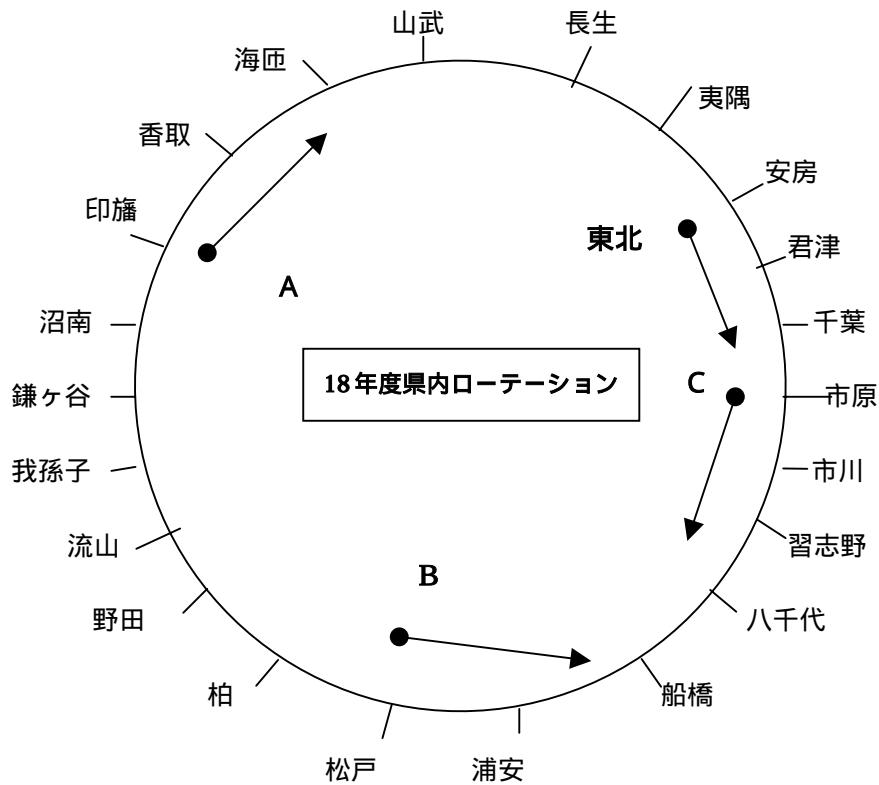
- 1) 県内ローテーション
- 2) 乗り継ぎ臨時列車 380 名 6 両編成 (183 系) 600 名 10 両編成 (183 系)
乗車区間別車両編成 吾妻線 6 両編成 1 単位 3 両 190 席
両毛線と上越線は 両編成を限度
乗り継ぎ列車は往復利用が大原則
- 3) 上越新幹線の利用
原則、高崎駅から 1 列車当たり 200 名限度 (土・日は別)
使用予定列車は たにがわ号予定

埼玉県

- 1) 県内ローテーション 東部 北部 南部 西部
- 2) 高崎線臨時列車は A・B 共に 1 日 1 列車 600 名 10 両編成 (183 系) が限度。
- 3) 旧大宮市連合は 1 編成当たり毎日 東・西で組み合わせ。
- 4) 埼玉地区は同じ出発日に J R と東武鉄道の利用校を組み合わせる。

千葉県

- 1) 県内ローテーション（下図）
- 2) 乗り継ぎ列車の関係等で地区を重複させる必要がある。
- 3) 市川・習志野・鎌ヶ谷等は京葉線・武蔵野線・総武線各停・総武線快速に分散。
- 4) 松戸・柏・流山・我孫子・野田等は常磐線快速・武蔵野線・千代田線に分散。
- 5) 市原・君津・木更津地区は外房線・内房線・総武快速線・京葉線の分散。
- 6) 成田線（湖北・布佐・小林・印西・栄等）1日1校。
- 7) 土・日を含む発着を希望の学校に注意する事。
- 8) 同一新幹線には同一市町村2校以内で割付を希望。
- 9) 浦安地区は旅行中同地区の学校が重ならないように。
- 10) 鎌ヶ谷地区は連続しないように。
- 11) 千葉県民の日 18年6月15日(木) 13.14.15 出発は除く。
- 12) 新松戸北中と小金中、長柄中と昭栄中は17年度統合のため同一日設定。



3. 研究調査活動について

(1) 研究委員会の活動状況

ア. 会議の状況

第1回研究委員会 6月3日(東京文化会館) 調査の方向・骨子の検討

第2回研究委員会 9月30日(東京文化会館) 調査データ等の考察

イ. 16年度修学旅行等の実施状況調査データ 別紙1

(2) 愛知県修学旅行現地視察会(報告)

ア. 実施月日:平成16年8月24日(火)~25日(水) 2日間

イ. 参加者:19名(茨城県4名、群馬県1名、埼玉県7名、千葉県4名、事務局2名、
全修協1名)

ウ. 視察先:愛知県内

エ. 視察報告:別紙2

(3) 第40回関東地区公立中学校修学旅行研究発表会

ア. 開催日時:平成16年11月5日(金) 13時30分~16時30分

イ. 会場:ホテルレイクビュー水戸(茨城県水戸市)

ウ. 主催:関東地区公立中学校修学旅行委員会、(財)全国修学旅行研究協会

エ. 開催要項:別紙3

オ. 各県の参加要請人数

茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	合計
150名	50名	10名	20名	20名	250名

カ. 参加人数の取りまとめ等

10月15日(金)までに、各県委員長(部長)で取りまとめの上、事務局まで送付。

(4) 第21回全国修学旅行研究大会

ア. 期 日:平成16年11月20日(土)

イ. 会場:日本科学未来館(東京臨海副都心お台場)

ウ. 主催:(財)全国修学旅行研究協会

エ. 開催要項:別紙4

オ. 参加者:150名予定

関修委では、各県5名程度の参加を希望

4. 陳情活動について

(1) 平成17年度修学旅行費等の国庫補助金の増額陳情

ア. 陳情先・月日

文部科学大臣、同初等中等教育局長、同初等中等教育局児童生徒課 8月5日(木) 午前
 財務大臣、財務省主計局長、同主計局文部科学省担当主計官 8月5日(木) 午後

イ. 陳情者(5団体連名)

関東地区公立中学校修学旅行委員会 東海三県中学校修学旅行委員会
 近畿地区公立中学校修学旅行委員会 あおぞら号近畿地区運営協議会
 財団法人 全国修学旅行研究協会

ウ. 陳情内容

全国公立小・中学校在籍の要保護・準要保護家庭及び高度へき地(3級～5級地)の児童生徒を対象に修学旅行費並びに校外学習費の国庫補助金の増額

表3 平成17年度修学旅行費等の国庫補助金の陳情額(単価)

(単位：円)

行事種別	学校種別		要望額	前年よりの増額	16年度決定額
修学旅行	中学校		56,100	200	55,900
	小学校		20,800	200	20,600
校外学習	中学校	宿泊を伴う場合	6,040	200	5,840
		宿泊を伴わない場合	2,380	200	2,180
	小学校	宿泊を伴う場合	3,670	200	3,470
		宿泊を伴わない場合	1,710	200	1,510

5. JRとの意見交換会について

ア. 日時 平成16年10月22日(金) 14時30分～15時30分予定

イ. 出席要請 JR東海・JR東日本の関係箇所

ウ. 内容 連合体輸送に関する意見交換

6. 資料・情報について

(1) 修学旅行参考資料「関西の旅」(関修委監修)等の採用状況

(株)教材研究所 土田 繁 取締役

表4 関西の旅等採用状況(平成16年1月~9月)

(単位:部、校)

区分 県	関西の旅		京都散策乗物ガイド		採用校	
	16.1.1~9.30	15.1.1~12.31	16.1.1~9.30	15.1.1~12.31	16年	15年
茨城県	3,401	7,385	288	582	40	82
栃木県	7,301	8,369	1,110	709	69	89
群馬県	4,040	4,468	335	468	65	85
埼玉県	10,218	15,070	906	1,070	140	218
千葉県	3,282	5,421	403	829	54	85
合計	28,242	40,713	3,042	3,658	368	559

16年は9月末日までの中間状況です。

(2) 神戸修学旅行情報

神戸市東京事務所 能勢 均 所長他

(3) 京都・奈良修学旅行情報(資料のみ)

配付資料 わたしの仕事館

7. その他

(1) 第3回研究委員会・研究協議会の開催

ア.日 時:平成16年10月22日(金)

研究委員会 11時開会、研究協議会 13時30分開会

イ.会 場:東京文化会館 中会議室1(研究委員会・研究協議会とも)

(2) その他